

# 輝け田底っ子

第51号

文責：校長 益永 一幸

## 令和4年度 田底小 チャレンジ目標

- ① 最後までがんばろう ② 上手に伝え合おう ③ 自他を大切にしよう



## 「2月は、次に向けたスタートの月」(校長の話より)

この3週間ほどは、何度か雪が降って、非常に寒い日が続きました。今日は何の日か知っていますか。「節分」です。「冬と春の季節の分かれ目の日」です。日本では、この日を祝って、「鬼は外、福は内」と豆まきをする風習があります。そして、節分の次の日の明日4日は「立春」です。暦の上では春が始まる日です。でも、春と言ってもまだ寒いですね。

こんな寒い中、校庭に育っている木々たちは、もうすでに春の準備を始めているのを知っていますか。私たちが気付かないうちに、寒さを我慢して春の準備をしています。これは、校庭にある木の枝の写真です。何の木の写真でしょうか。そうです。桜です。校庭の桜の枝には、すでにこのように「つぼみ」がついています。

でも、この桜の活動は不思議なのです。桜は、夏から秋にかけて、次の年の春に咲くための準備を始めます。しかし冬になってだんだん寒くなると、一度活動が止まり眠った状態になるそうです。そして、なんと不思議なことに、今のようなどても寒い状態になると、その寒さの刺激を受けて、眠りから覚めて再び活動を始めるそうです。このように、桜は、今の寒い時期に、一度きちんとした寒さにさらされないとつぼみが膨らみ始めないそうです。これをちょっと難しい言葉ですが、「休眠打破」といいます。桜は、1月後半から2月初めの寒さで目を覚まし、だんだん春に向かって準備を始めます。そして、桜は、その後は、皆さんもよく知っているように暖かい日光を浴びてだんだんつぼみを膨らませていき、最後にはきれいな花を咲かせます。

これは、皆さんも同じですね。春になれば新しい学年に、特に6年生は中学校に進学です。次のステップで、これまで以上に活躍するきれいな花を咲かせてほしいです。そのためには、春になって暖かくなったら準備するのではなく、この寒さの中でも、次に向けて小さな努力を重ねて準備を始めることが大切です。

もちろん、自分のがんばりだけではなく、今の学級でみんなと協力してこの一年間のまとめをがんばることも大切な次の学年への準備の一つです。今から準備を始めたら、春からの新しい学年がもっと楽しみになりますね。寒さに負けずに、次に向けての残りの3学期をさらにいいものにしましょう。



## 3年生クラブ見学～どんなクラブに入ろうかな～

2月2日（木）の6校時は、3年生がクラブ活動を見学をしました。田底小には「タブレット」「スポーツ」「イラスト・クラフト」「ハンドメイド」の4つのクラブがあり、4年生以上で活動しています。3年生はワクワクして見学していました。